

## プノンペン都の産業人材育成体制の構築 (2017年～2020年)

### 世界中どこに行っても通用する「働く人」を育てた プロジェクト！

■ **実施団体：**  
公立大学法人 北九州市立大学



授業風景(チュムプーワン工業高校)

■ **対象国・地域：**  
カンボジア国 プノンペン都

■ **現地カウンターパート**

- ・産業技術大学、労働職業訓練省
- ・チュムプーワン工業高校、教育・青年・スポーツ省

■ **協力内容：**

産業技術大学、チュムプーワン工業高校において「産業人材養成講座-工場で働くための基本-」の講義を行うための

- ・テキスト作成を指導する。
- ・教員を指導する。
- ・改善する仕組みを導入する。

■ **団体のこれまでの取り組み：**

- ・地域課題に関する諸問題やアジア地域について調査研究
- ・SDGsの推進に向けた調査研究や企業支援
- ・地域に関わる人材の育成による地域の発展に寄与する活動

■ **事業実施の背景：**

- ・カンボジアの工場で働く従業員の多くは、組織で働く基本的な知識(ソフトスキルや管理技術)が不足し、さらに向上心や改善意欲が希薄であった。

### カンボジア国の課題と成果

**課題①** 産業人材養成講座を教える教員や受講者(学生、社会人)は、社会人に求められるソフトスキル(業務の進め方や周囲の人とのコミュニケーションの取り方に関する能力のこと)の概念をあまり理解できていなかった。

**成果①** 講座を受けるようになって、遅刻するときには事前連絡をしたり、休み時間が終わったら遅れずに着席するようになったりという行動に変化が見られた。

**課題②** 物事を進めるうえでチームワークが必要という考え方がカウンターパートに根付いていなかった。

**成果②** 教員同士でテキストを作成するにあたって、違う意見を受け入れながら、より良いテキストを完成させるための共同作業を行うことでチームワークが醸成された。

### 事業の波及効果



**プロジェクト成功の秘訣はカウンターパートの主体性！**

- ・事業開始時から省庁を巻き込んで活動してきたことにより、これら省庁の職員の講義への理解が深まり、主体性が育まれた。今後、全国の産業技術大学や工業高校に横展開することが期待される。
- ・カウンターパートが自らカンボジア内で使いやすいテキストを作ったことで、今後、独自に改訂し、持続的に活用していくことが期待される。